

エコニュース さって



第 25 号

平成 20 年 12 月 18 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

第28回健康福祉まつり

11月2日(日) ウェルス幸手で健康福祉まつりが開催され、さって市民環境ネットも日ごろの活動状況を市民のみなさんに披露しました。人気の「環境クイズ」には今回も約400人が参加しました。

(参加者のアンケートから)

見て「良かった」コーナーのアンケートで市民環境ネットに一番多い投票が入り、皆さんの環境への関心が高いことがうかがえました。特に、八代小学校4年生の自由研究の展示は、「子供達の熱心な作品に感心しました。」というコメントがあり、好評でした。

今回初めて、私達の展示物以外に、八代小学校4年生の「ごみの減量」の自由研究の成果を展示しました。6月に総合学習の授業のお手伝いをしたのがきっかけになって、生徒のみんなが一人一人知恵を絞って考えたり、調べていることを知り、吉井先生にお願いしました。自分たちに何ができるか、子供達の声が聞こえてくるような力作ぞろいで、大人の私達に訴えていました。大人の私達の心を動かします。この企画をして本当によかったと感じました。

🌀 高須賀池にも「浮島」を浮かべました。

「浮島づくり」のグループは朝8時から、ミニ浮島を作って展示しました。「まつり」が終わった後、高須賀池に浮かべました。

「腐葉土づくり」のグループは自家製腐葉土を配って、新たな参加者を誘いました。

「中川探検」のグループは前回よりひとまわり成長した、中川のジオラマを披露しました。

第3回子育て応援まつり

12月7日(日) ウェルス幸手で子育て応援まつりが開催され、さって市民環境ネットもちびっ子たちと一緒に遊びながら、「環境」の問いかけをしました。

ガリガリトンボとコマのおもちゃづくりは大変な人気で、用意した50個では足りず、その場で追加して作って間に合わせました。割りばしをちょっと細工したものを使って、自分で簡単に組立てられるガリガリトンボは、コツをつかめば風もないのに風車がブンブン

回って、ちびっ子たちは大喜びで得意顔。直径3センチほどの輪切りにした間伐材に色ペンで好きな模様を描いて楽しんだ後、真ん中につまようじを差してコマのできあがり、初めはうまく回せなくても、だんだん上手になりました。

集まったちびっ子たちは、環境紙芝居にもしっかり集中して見入っていました。

映写会は、人気のアニメ「アンパンマン」とあって、超満員の盛況となりました。バイキンマンと戦う正義の味方、でもスーパーマンみたいにカッコよくない。子供達にウケるのはなぜか。テレビがはじまってから20年もの長い間続いているという、今では母子2代に受け継がれていて、そこにも心が通じ合う秘密があるのかもしれない。(本田)

アンパンマン

アンパンマンの歌を知っていますか、といっても私が知っているのは、その作者のやなせたかしです。彼が作詩した「手のひらに太陽に」、昭和37年テレビのニュース番組の主題歌として流されて、私も愛唱しました。アンパンマンの現れるだいぶ前のこと。やなせたかしも来年には90歳、健在です。

落葉リサイクルで腐葉土づくり オク豆の収穫

<第32回腐葉土づくりの会>

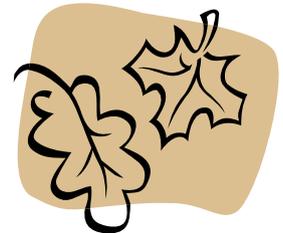
今年も大量のオク豆の収穫を行いました！

10月4日(土)、今年も持ちきれない程、一家族では食べきれないほどの大量のオク豆の収穫がありました。当初、予定していた9月21日(日)の草取りは、サツマイモ、オク豆が繁茂して草が生えていないので中止にしました。そして、10月19日(日)オク豆の収穫予定が、実りが早まって12日、更に早まって4日(土)(天気を心配して1日繰り上げ)の収穫となりました。秋晴れの夏を思わせる暑さで汗をかきつつ収穫を行いました。10月は色々な行事があり、日程の2度の変更にも関わらず17名の参加がありました。

冒頭、本田会長から、今年も、11月2日(日)の社協主催の「市民健康・福祉まつり」に「市民環境ネット会議」の活動報告の一つとして「腐葉土の作りの会」も参加するとの報告がありました。野澤代表幹事が日程変更から都合が悪くなり欠席したため、事務局から作業手順を説明し、全員で並んで根の張ったマメを「よいしょ」と気合をかけて抜きました。その後、持参した木バサミや枝きりバサミで根を切り落とし、豆の付いた枝を10本ずつ束ねて収穫のやまを作りそれぞれを縛りました。一人二束ずつ分配し、また欠席者で欲しい人には配りました。沢山残ったため更に欲しい人に分配しました。皆様からは分配量に応じて運営資金を戴きました。

最後に月末、10月26日サツマイモの収穫を楽しみにし、散会しました。オク豆の収穫量が多すぎたため、会員の皆様から近所、友人などに差し上げたと聞いています。また、持ち帰って、早速、茹でて大変美味しかったことも聞きました。

なお、畑の地主のつるやさんと、畑を耕してくれた新井先生に収穫物のお礼をして喜んでいただきました。(澤村)



サツマイモの収穫

<第33回腐葉土づくりの会>

今年は大きなサツマイモが沢山とれました！

10月26日(日)曇り空で肌寒い日でしたが、子育て真っ最中のお母さん、お父さん、ちびっ子(子育てサロンほのぼののグループ)も加わって待ちに待ったサツマイモ掘りを34名で賑やかに楽しく行いました。野澤代表幹事の作業手順説明に従って、先ず、全員でイモのつる切りを行い、続いてちびっ子にイモの掘り方を教えて、後は皆がスコップで掘るもの、シャベルで掘るもの、手で掘るものと思いに、「今年のイモは大きいな！」と感心しながら掘りました。掘り終わった後、サツマイモを集めてその前で全員集合写真(イモをそれぞれ手に持って)を撮りました。収穫したサツマイモは、都合で欠席した人も含めて一袋100円(運営資金)で分配し、子育てのグループには、後日、「焼き芋会」を催すとのことで一袋寄付しました。また、サツマイモは4~5日乾し、1~2週間してから食べると甘みが増して美味しいとの教えがありました。

焼き芋会

12月15日(月)東中学校に10人のちびっ子とそのお母さん達、それにサポーターが集まって、焼き芋をして楽しみました。(主催:幸ネットワーク)私達の提供したサツマイモも食べてもらいました。

最後に、本田会長から上記の11月2日(日)の社協主催の「市民健康・福祉まつり」への「腐葉土の作りの会」の参加と協力願いを再確認した後、野澤代表幹事と事務局から次回の11月16日は、新年度として、新しいメンバーも加わり、第1回腐葉土づくりを行い、予てから考えていた床を一基増やして労力の削減と作業効率を上げたい旨の連絡があり散会しました。

なお、サツマイモ掘りはコメントとして、大人でも、自分たちで植えて育てたので格別に楽しいとのことでした。また、お世話になっている環境課、新井先生にもお礼として一袋ずつ差し上げて、後日、大変美味しかったという返事を戴きました(澤村)。

<第34回腐葉土づくりの会>

第34回(新年度、第1回)腐葉土づくりの会

今年も新メンバー11名を迎え腐葉土づくりをスタートしました！

11月29日(土)、新会員を迎え、新年度の腐葉土づくりをスタートしました。

最初に、現会員、新会員の自己紹介を行った後、野澤代表幹事から、作業手順の説明があり、先ずは落ち葉集めを行いました。最近、我々、腐葉土づくりの会の活動の好影響もあって、桜泉園内や周りの落ち葉を収集する人がいて、落ち葉が少なくなっており、一つ向かいの道路沿いまで落ち葉集めに行きました。前日の雨で落ち葉が少し濡れていましたが、全員で、クマデとほうきを使って集めて大小100袋程の袋詰めを行い、先に桜泉園で集めた30袋程と合わせて3床に積込みました。積込みの作業手順は、落ち葉を30cm程の厚さに積み、足で踏み込んで、皆で持ち寄った米ぬかと乾燥汚泥土、少しの化成肥料(硫安)をまいた後に水を散布し、この一連の作業を3回行って3層にして、最後にシートで覆って終了としました。

作業終了後、新会員には、今年度作った完熟腐葉土を一袋ずつ差し上げました。

次回、12月21日（日）10時から開催し、更に落ち葉を集めた3基に積層作業と、作業効率向上と労力削減のためのスペア床の増設を予定して参会しました。

なお、16日（日）開催日を雨のため延期したことで、土曜日開催（30日（日）を予備日として考えて）ということもあって、参加者数が18名と少なかったようです（澤村）。

＜来年は、1月18日（日）から始まります。＞

市民環境講座開催のお知らせ

身近な環境問題をシリーズで学ぶ環境講座を開催します、是非ご参加ください。

●1回目のテーマ

[地球温暖化とエネルギー]

＜講師：関東経済産業局総合エネルギー広報室 石原 優氏＞

地球温暖化を入り口とし、エネルギー問題との関係などにふれながら、エネルギー全般の話の伺い、問題点や私たちにできることを討議します。

- ・日時 平成21年1月17日（土）
- ・時間 午後1時～4時
- ・会場 幸手市中央公民館 講座室
- ・定員 40名

今後の予定テーマ

- 2回目：「クイズでアタック＜食＞と＜農＞」
- 3回目：「Eco・エコ省エネゲーム」
- 4回目：「環境配慮包装の現状」
- 5回目：未定

問合せ&申込先 幸手市市民生活部 環境課
48-0331 環境担当まで

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手地産地消研究会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊

市民環境会議・さって市民環境ネットは、「環境基本計画」に市民の皆さんの声を織り込むために作業してきました。そして今、環境ナビ（幸手市HP）、エコライフDAY、中川探検、腐葉土づくり、浮島づくり、グリーンコンシューマー運動などの活動に取り組んでいます。あなたも参加しませんか。いつからでも誰でも参加できます。

問合せは、本田（42-8412）まで。